

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ナノデス アクキュライズⅥ</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.480</b>	△RG <b>0.053</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：アクキュライズⅥ**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：アクキュライズⅤ**

フレアーの幅  インチ

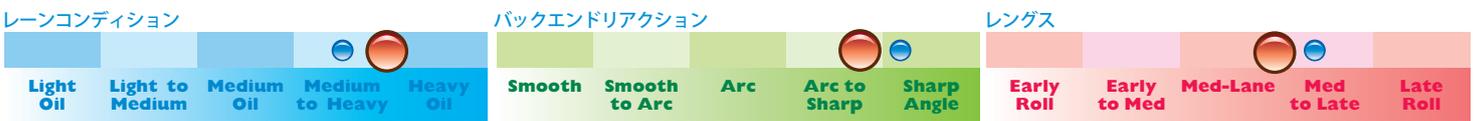
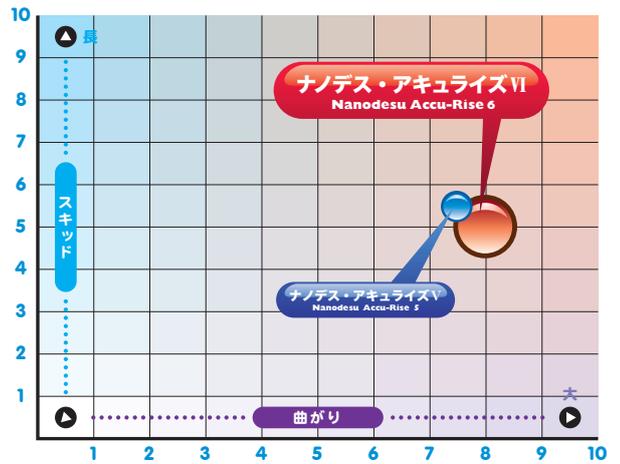
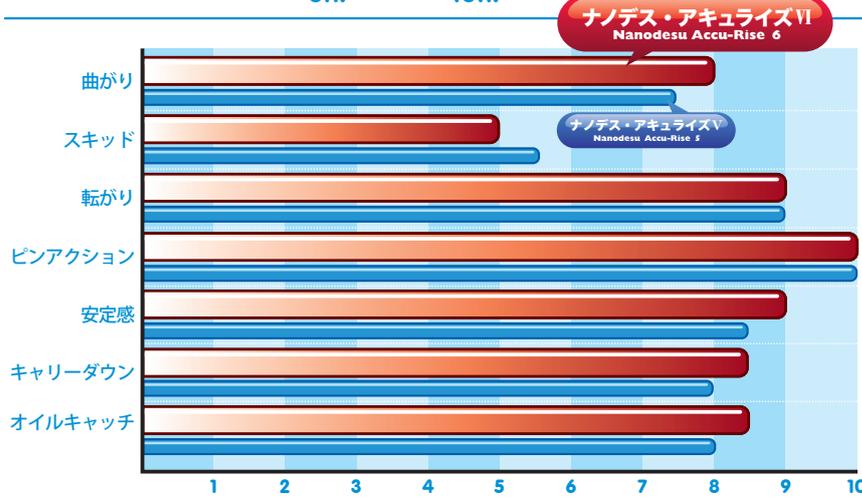
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



**ボールの評価**

ABSを支える大黒柱といってもよいナノデスシリーズ。特にACCU-RIZEシリーズとTour-Premiumシリーズは多くの皆様の支持を頂き、発売するごとに生産が間に合わないほどご好評頂いています。このACCU-RIZE 6はACCU-RIZE 5と同じNano-Thane 3.0 Pearl (Level 3)、コアは新型を搭載してまた新たなパフォーマンスを実現させています。

今回の新型のコアはナノデスシリーズの中で最もポピュラーなツアープレミアムをModifyしたコアで、前回のRISE 5で作られたSS Premium CoreとTour-Premiumの現行のPremium Coreとのちょうど中間のパフォーマンスを示すつくりになっています。Tour-Premiumはミッドで柔らかく動き始め、ピンヒットまでフリップ状に動く性能。RISE 5は走りを基調に先のシャープさが特徴のボールでした。今回のRISE 6はRISE 5と同じNano-Thane 3.0 (Level 3)を使い、コアの調整によってTour-PremiumとRISE 5の性能とを合わせた性能が開発コンセプトです。このRISE 6開発に至って、まず印象に残ったのは今回も強いカバーでも走ることでした。前作RISE 5ではしっかりと走るけどオイルに対しての弱さは感じない、そしてバックエンドでシャープさが出て幅広い層のボウラーに使用して頂きました。そのスキッド感を活かし、ややRISE 5よりも早めに曲がりのネジれ感を出すために新型のコアを開発し搭載しました。

投げた印象は走りのイメージはRISE5と大差は感じないのですが、曲がり始めがRISE 6のほうが早めに始まり、Tour-Premiumほど早めにネジれるイメージがないので、手前のオイルを軽く使い、楽に外に向けて投げることができます。走るけどオイルに対しての安定感もあり、RISE 5よりやや早めに曲がりが始まるのも軌道のイメージが取りやすく感じます。

**特記事項** **3 Tone Bright Green Pearl**という淡さを基調としたのも、スキッド、フック、ロールすべてにおいてバランスが保てるよう計算されてつくしたうえでのチョイスの配色です。